「私版」



2021. July. 1 在仙台カンボジア王国名誉領事館

リエンポン小学校に井戸を建設

総人口約 1650 万人のカンボジア。アセアン諸国では珍しく、首都プノンペンの水は直接飲める水質基準に達しています。そこには、SDG s に基づいた北九州市上下水道局の協力がありました (2020 年 7 月発行 瓦版 N o .3)。しかしその一方で、農村部を中心とした 20%ほどの人々は、いまだ安全・安心な水を日常的に使用できていない現実があります。

私は2013年からリエンポン村での教育支援活動に携わってきました。井戸を掘る深さはそれぞれの村の立地や環境で違い、中には数十メートル掘らなければ水が出ないという地域もあります。リエンポン村の井戸の多くは5~6m ほど人力で掘り、大きな土管を1つずつ設置して水脈にあたり次第終了。最初の湧き水は濁っているので2~3日放置します。透明な水が湧き出てきたら、飲料水や生活用水として使い始めます。

しかしながら村の全ての家庭に井戸がある訳ではなく、1 基の井戸の共有も見られます。また残念なことに、乾季には水脈の状況によって水が枯れる井戸もあります。ここ数年、水タンクで飲料水を交換販売している業者を見かけるようになりました。

このような状況の中で、村のすべての家庭に安全で安心できる水を届けたいと、私の故郷でもある三島の「せせらぎ三島ロータリークラブ」様へ、昨年リエンポン小学校に新たな井戸の建設をお願いしました。土壌・水質汚染の影響を十分に考慮して地下 50m の深さの水脈よりモーターで水を汲み上げる井戸です。

子どもたちは見たこともない掘削機に興奮し、水が湧き出た瞬間は大喜びでした。加えて村の 人々がいつでも自由に給水できるよう大きなタンクを設置、手洗い場兼水汲み場の併設もお願いし ました。

約2週間に渡る建設期間中、小学校の先生たちと共に水質の大切さを伝える説明会を設け、小学校の井戸を使用する意味を村の人々に伝えました。建設後に受けたプノンペンの水質検査研究所の成分検査では、飲料水として使用して問題ないと認証をいただきました。

以降、村の人々は小学校の井戸へ毎日給水に来ています。





手を洗う子どもたちと 水を汲みに来るお母さんたち

寄稿者:内田隆太(静岡県三島市出身)

Share the Wind(日本)

ORGANIZATION FOR MAKING CHILDREN'S FUTURES (カンボジア)

2014年にシェムリアップ市から 60km 離れたリエンポン村に小学校を建設。

2015年よりカンボジアに移住し、同村で教育・就労・技術支援を行なっている。現在は農業支援と縫製技術習得支援を中心に子どもたちの継続した教育に繋がるよう活動をしている。

HP: http://share-the-wind.sunnyday.jp/



第二の都市 バッタンバン

カンボジア西部バッタンバン州の州都。

プノンペンから北西約300kmに位置する11世紀クメール王国が設置、国内有数の稲作地帯での どかな光景が見られます。

現在、首都プノンペンとタイ王国を結んでいる街です。近くにカンサー川が流れており州の美しい 風景を育んでいます。



バッタンバンの顔 ~ダードンボーンクロニューン

真っ黒な肌にいかつい顔でひざまずく巨大な男 の正体…?

バッタンバンの地名の由来になっています。「ボン ドーン (棒) を失くしてしまった (バッ) →バッタ ンバン」という言い伝えがそのままこの町の名前 となったそうです。プノンペンへと続く国道5号 線にあり、ここにお祈りに来るカンボジア人や写 真を撮る観光客がよく見られます。



プサーナット市場

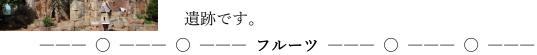
1930年に建設された市場「プサートム」は、その後プサーナ ット(待ち合わせ)と呼ばれるようになりました。

バッタンバンの市民の衣食等の生活用品等をになう、大切な 場所です。



バノン遺跡

街の中心部から約30kmの小高い丘に建つバラモン教の寺院 で、五つの塔が特徴です。ミニアンコールとも呼ばれています。 到着すると、整備された約 350 段の階段がお出迎えしてくれま す。以前は階段の両脇に地雷注意の看板があったそうです。 丘の上からの見晴らしも良く、こじんまりしていますが綺麗な











banana (chek namva)



បំពេញរាជ្យ (កំពេញរាជ្យ) (熱)



NyoNyum 提供

仙台あれこれ・・・

~草野球チーム~ アルバトロス

チーム結成から42年。宮城県の中でも歴史のあるチームと して今も活動しています。



「青雲野球リーグ」という 7 チームが所属する団体で年間 14 試合を行い各チーム優勝を目指して 頑張っています。活動の拠点は仙台市泉区七北田大沢にある熊谷グラウンドが主な戦いの場となり ます。

我らアルバトロスは優勝から 20 年程遠ざかり最近では B クラスの常連チームとなっています。 メンバー構成は社会人がほとんどで20代~70代と年齢の幅も広いのが特徴の1つです。

ただ、平均年齢が48歳とやや高齢チームになっているのが気がかりで中々チームの若返りが図れ ていないのが現状です。

基本的には練習なしのぶっつけ本番で試合を行っております。勝ち負けにもこだわりたい所です が、無理をせず楽しんでプレイするのが1番ですね。

コロナ禍の今は難しいですが、例年ですと年1~2回は反省会と称した飲み会などを行いながら交 流を深めておりチームの雰囲気も非常に良いです。

本来だと 4 月 1 週目からリーグ開幕をしますが、コロナ禍の影響もあり今年は約 2 ヶ月遅れの 5 月30日からの開幕となりました。

各チーム、ベンチ内ではマスクをする等、条件付きでの試合となる事からか思うように動けていな い様にも感じられます。今シーズンも無事開幕を迎え我らアルバトロスも優勝?目指しチーム一丸 となり頑張っていきます。

★18歳以上で野球をやりたいけどきっかけがなく始められないでいるあなた★ 是非「アルバトロス」で野球をやりませんか!!いつでも大歓迎です。





グラウンド所在地:宮城県仙台市泉区七北田字大沢日焼 44

青雲リーグ会長 兼 アルバトロス所属:谷山 實 アルバトロス監督:宮下 賢一

リーグ URL: https://randcseiun.com/blogs/11

